

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



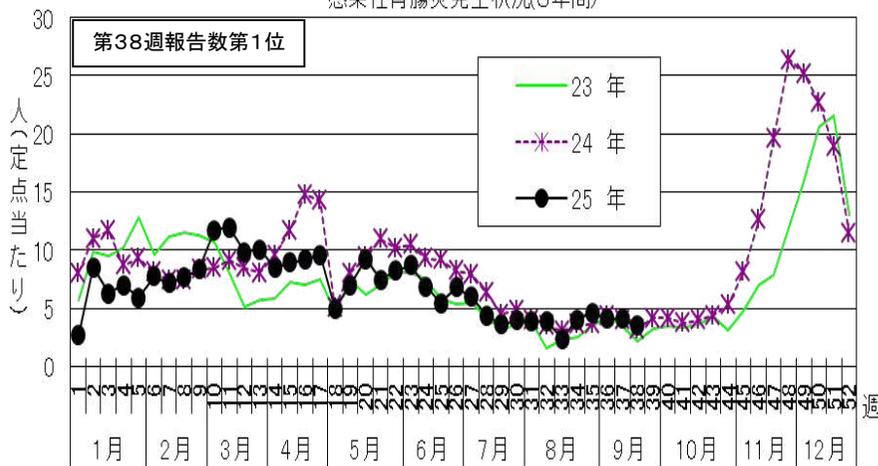
KAWASAKI CITY



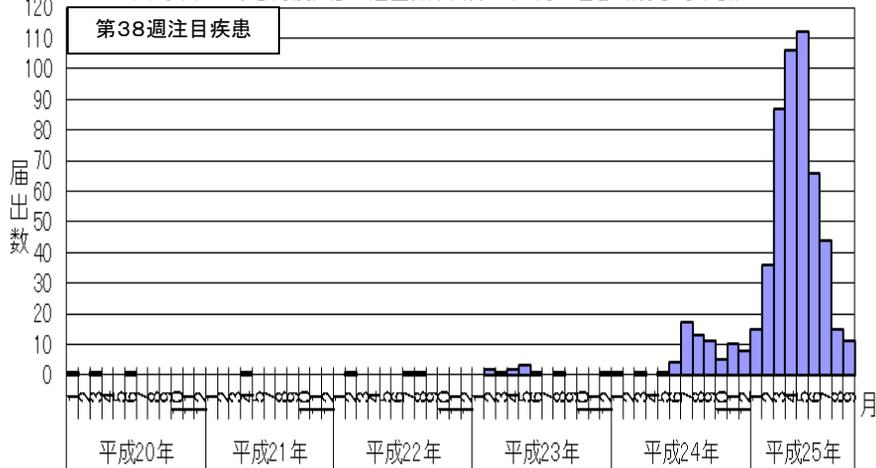
平成25年9月16日（月）～9月22日（日）〔平成25年第38週〕の感染症発生状況

第38週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) ヘルパンギーナ でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり3.52人と前週（4.09）より患者報告数は減少しましたが、例年よりやや高いレベルで推移しています。
 手足口病は定点当たり1.76人と前週（2.27）より報告数は減少しましたが、例年よりやや高いレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナは定点当たり0.94人と前週（1.42）より報告数は減少しましたが、例年よりやや高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年9月22日診断分まで集計)



今後の流行に注意！！～RSウイルス感染症～

例年、秋から冬にかけてRSウイルス感染症の患者が増加しますが、今年
 は、すでに患者報告数が増加しています。

ほとんどの乳幼児が2歳までに感染し、特に心臓や肺に基礎疾患をもつ小
 児は、重症化のリスクが高くなりますので注意が必要です。



どうやって感染するの？

RSウイルスに感染している人の咳やくしゃみ、会話をした際に飛び散るしぶきから感染します。また、ウイルスがついている手指や物（ドアノブ、手すり、スイッチ、机、椅子、おもちゃ等）を触ったり、なめたりすることでも感染します。

何に注意すればいいの？

乳幼児と接触する際、咳などの呼吸器症状がある場合は、流行時期はもちろんのこと、流行時期でなくても、マスクを着用することが大切です。また、おもちゃや手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒してください。 ※塩素系の消毒剤を使用する際には、使用上の注意を十分ご確認ください。



上のグラフのとおり、川崎市だけでなく、全国的にRSウイルス感染症の報告数が増加していますので、冬場に向けて注意が必要です。